

第1学年 体育科学習指導案

日時 令和2年〇月〇日(〇)〇校時

場所 体育館

児童 21名

指導者 廣瀬 麻理

1. 単元名 わくわくランドヘレッツゴー！(多様な動きをつくる運動遊び)

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きを知り、様々な基本的な動きを楽しく経験し、身に付け、動きの幅を広げることを主なねらいとする運動遊びである。

(2) 子どもから見た特性(児童の実態を含む)

- ・体つくりの運動遊びは、1学期に経験している。用具を操作する運動遊びでは、フープの用具を使った経験がある。ボールについては「投げる」「捕る」などの基本的な操作であっても技能の個人差が大きい。
- ・事前アンケートでは、ほとんどの児童が体育の授業が「好き」「だいたい好き」と答えている。特に、勝敗を競う活動やできないことができるようになる活動には意欲的に取り組む児童が多い。
- ・与えられた運動や動きには意欲的に取り組む児童が多いが、毎時間のめあてをしっかりとって活動している児童は限られている。
- ・休み時間には、運動場でおにごっこやサッカー、ドッジボールをして楽しむ児童が多い反面、常に教室の中で過ごしている児童も数名おり、学級の中でも運動習慣の二極化が見られる。

3. 教師の授業への意図

- ・これまでの体育の授業や休み時間に遊ぶ児童の様子から、主体的に運動に取り組む態度や体の動かし方に大きな個人差を感じたため、取り組み易い動きを教師が提示し、いろいろな動きを経験させたい。また、運動量を確保できるようにするため、1人1個ずつのボールを確保し、ボールの種類も選択できるようにする。
- ・運動が苦手な児童への配慮として、やわらかいボールやつかみやすいボールを準備する。
- ・学習カードで動きを例示することで、運動に苦手意識をもつ児童も行いやすくする。できるようになった動きにシールを貼り、達成感を得られるようにすることで、意欲的に取り組むことができるようにする。
- ・始めに頑張りたいと思う動きを選ばせることで、自分のめあてを意識して運動ができるようにする。
- ・本単元では、「体のバランスをとる運動遊び」を経験したあと、「用具を操作する運動遊び」を学習する。「体のバランスをとる運動遊び」では、立って、片足で、しゃがんでの3種類のバランスずもうに取り組む。今回の「用具を操作する運動遊び」では、始めにボールの投げ方や捕り方を紹介し、児童が、自分で楽しいと思う動きを選べるようにしたい。また、「用具を操作する運動遊び」では、児童が試行錯誤できる時間や場が十分に必要だと考える。そのため、単元計画において、学期ごとに各3時間を設定し、①動きを知る、②・③動きを身に付ける時間とする。
- ・用具動作ではボールを用い、遊びの要素の中から、遊び方、ボールの大きさ、遊ぶ場、ボールの種類や人数を選ぶことができる自由を保障することで、児童が夢中になって活発に活動できるようにする。

4. 単元の目標

自分のしたい動きに合ったボールや場を選んで、運動遊びを楽しむ。

5. 評価規準(※番号は、単元全体を通した評価規準表に準ずる)

	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習活動に即した 評価規準	①体ほぐしの運動遊びの行い方を知っている。 ②多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知っている。	③姿勢・方向・人数を変えて体のバランスをとる動きができる。 ⑤用具を操作し、用具に合わせた動きができる。	②楽しくできる体ほぐしの運動を選んだり、楽しくできるように用具や場を選んだりしている。	②順番を守ったり、運動を行う上でのきまりを守ったり友達と仲良く運動したりしようとしている。 ④運動する場を横切ったり、周りとはぶつからないように間をあけたり、使った用具を片づけたりするなど、安全のきまりを守っている。

6. 2学期単元・評価計画

学期	2学期				
時数	1	2	3	4	⑤
運動	体のバランスをとる運動遊び		用具を操作する運動遊び(ボール)		
知識・技能	③ (観察)			⑤ (観察)	
思考・判断・表現		② (観察・学習カード)			② (観察・学習カード)
主体的に学習に取り組む態度		② (観察・学習カード)	④ (観察)		

7. 本時の指導 (5/5)

(1) 本時の指導目標

ボールを使った運動遊びが楽しくできるように、用具や場を選ぶことができるようにする。

(2) 本時の展開

学習活動と児童の反応(・)	教師の働きかけ(○)と形成的評価(◆)
<p>1. 学習の準備</p> <p>○用具と場の準備をする。</p> <p>2. 学習のめあてを確認する。</p> <p>○学習の見通しを持つ。</p> <div data-bbox="153 488 820 600" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて: なげたり, けったり, ころがしたりして, ボールのキャッチをしたのしくあそぼう。</p> </div> <p>○ボールを使うときの約束を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具や場の使い方について, 質問したり友達と確認したりする。 <p>3. 用具を操作する運動遊びをする。</p> <p>○ボールを使った運動遊びをやってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投げてキャッチする。 ・転がしてキャッチする。 ・蹴ってキャッチする。 ・高さ, 向き, タイミング, 人数, 姿勢, ボールの数や種類などを変えて楽しむ。 ・友達と動きを見せ合ったり, やってみたいりして楽しむ。 <div data-bbox="153 1335 831 1818"> </div>	<p>○子どもが主体となって, 安全に活動の準備ができるようにする。</p> <p>○学習のめあての確認をさせ, やってみたい動きの絵に磁石を貼らせる。(ボールを使ってどんな工夫をして楽しみたいか。)</p> <p>○みんなが安全に運動できるようにするためにどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>○場の設定や用具の使い方を観察し, 安全に活動ができるように促す。</p> <div data-bbox="847 1014 1458 1756" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆ ボールを使った運動遊びで, 楽しくできるように動きを選んだり工夫したりしている。(思考・判断・表現)</p> <p style="text-align: right;">【観察・学習カード】</p> <p>A ボールを使った運動遊びで, 楽しくできるように動きを複数選んだり組み合わせたりしている。</p> <p>B ボールを使った運動遊びで, 楽しくできるように動きを選んでいる。 →さらに自分で工夫をしてみるよう促す。</p> <p>C ボールを使った運動遊びで, 楽しくできるように動きを選んでいない。 →周りの友達の真似をさせてみる・教師と一緒に遊ぶなどして意欲を高める。できそうな動きから取り組んでみるよう促す。</p> </div>
<p>4. よい動きを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しんだ動きを紹介する。 ・困っていることがあれば, 伝える。 ・めあてを再確認する。 	<p>○動きのレパートリーやバリエーションが広がる動きを紹介させる。</p> <p>○学習カードの書き方を説明し, いろいろな動きをすることに意欲をもたせる。</p>

<p>5. 用具を操作する運動遊びを、もう一度やってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦したい動きに応じて、場の設定を変更する。 ・自分がやってみたい動きに合った人数や場で、動きに挑戦する。 ・互いが挑戦したい動きができるように相談したり、教え合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○場の設定のアドバイスをする。 ○みんなが挑戦したい動きを楽しめるように声かけをする。 ○単調な動きを繰り返している児童がいれば、その意図を尋ね、児童自らの学習の調整を支援する。
<p>6. 学習の片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ○用具と場の片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが主体となって、安全に活動の片付けができるようにする。
<p>7. 学習のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体で学習を振り返る。 ・学習カードにシールを貼り、振り返りを書く。 ・楽しかったこと、できたことなどを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習カードの挑戦した動きにシールを貼らせ、達成感を持たせる。 ○子ども自らの気づきを大切にして、学習の振り返りが進むよう促す。

出典:「小学校体育 簡単!授業で役立つイラスト&学習カードCD-ROM」東洋館出版社